



♪スタッフインタビュー♪

氏 名：濱川 翔吾
勤 務 地：保育所 同胞保育園
職 種：保育士
採用年月日：平成26年4月1日（勤務歴3年6か月）

Q：鹿児島県社会福祉事業団で働こうと思った理由、きっかけは？

保育士取得の為、鹿児島にある短期大学を卒業し、その後約10年間仁風学園で働きました。仁風学園では、社会人としての心構えはもちろん、今の自分の礎となる様々な事を学びました。また、尊敬する上司や互いに切磋琢磨できる同僚にも巡り合うことができ、そのような方々と長く一緒に仕事をしたいと強く思い、契約職員として働きながら事業団正規採用試験を受けました。

Q：現在の仕事のやりがいを教えてください。

平成27年8月に児童養護施設仁風学園から同胞保育園に異動となり、現在保育士として働いています。児童養護施設でも2歳～6歳の利用者があり、子ども達と接する機会も多かったですが、保育園での保育となると自信はなく、不安でいっぱいでした。保育園で働いていると、ピアノや絵本の読み聞かせなど、日々勉強の毎日でした。男性保育士は現在同胞保育園には1人しかいませんが、頼りになる女性の同僚や先輩方が支えて下さっているおかげで、今では、苦手であったピアノや絵本の読み聞かせが得意分野になりました。子どもの発達段階において、一番成長が著しい時期に子ども達と関われるこの仕事はとてもやりがいがあり、保育士として多くの事を吸収し、有意義な時間を過ごすことができていると思います。

Q：仕事をするうえで心がけていることは何ですか？

自分が利用者の家族だったらどうするかという事です。保育士の仕事をしている以上、時には褒めたり、時には注意をすることもあります。子どもによって、諭すように伝えた方が耳に入りやすかったり、褒めて伸ばした方が実力以上のものを発揮出来たりと対応方法はたくさんあり、どのようにアプローチをしていくか考えながら仕事をしています。

その際、アプローチするにあたっての判断材料は、その利用者とはどれだけ信頼関係を築けるかだと思います。小さなことも大きな事も、自分の家族だったらどのように伝えるかを常に意識しながら毎日保育を行っています。

Q：将来の目標を教えてください。

鹿児島県社会福祉事業団には、今までたくさんの経験をさせて頂き、多くの事を学ばせてもらっています。事業団にもたくさんの仲間ができたので、その仲間とこれからも事業団のために従事していきたい、どの福祉施設でも通用する職員になりたいと思います。

Q：当事業団に就職を希望されている方へメッセージを！！

事業団には多種多様な福祉施設があり、様々な体験、経験をすることができます。私自身、当初は児童養護施設ですと働きたいと思っていましたが、保育園も経験してみると福祉は奥が深いと実感しました。福祉職員として、色々な施設の情勢を知ることができたり、経験することができるのは、将来必ず役に立つことばかりであることを実感しました。これから事業団に就職を希望している皆様と一緒に事業団で福祉の知識やスキルを磨き、互いに切磋琢磨できる仲間が増える事を楽しみにしています。

